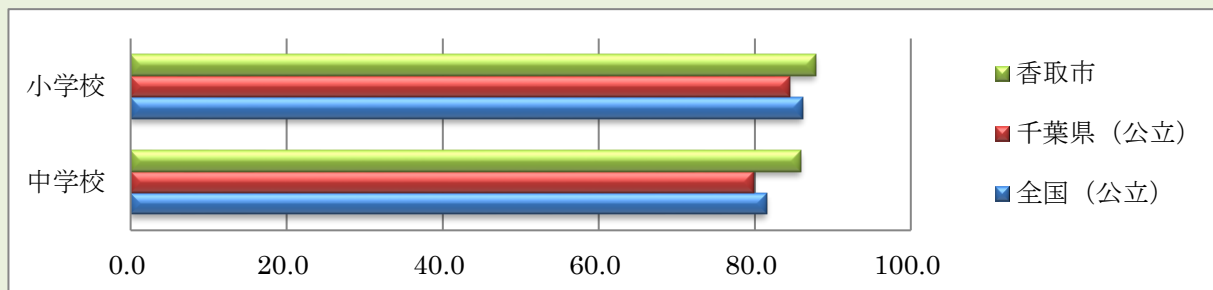


## 7 生活習慣や学習習慣等について

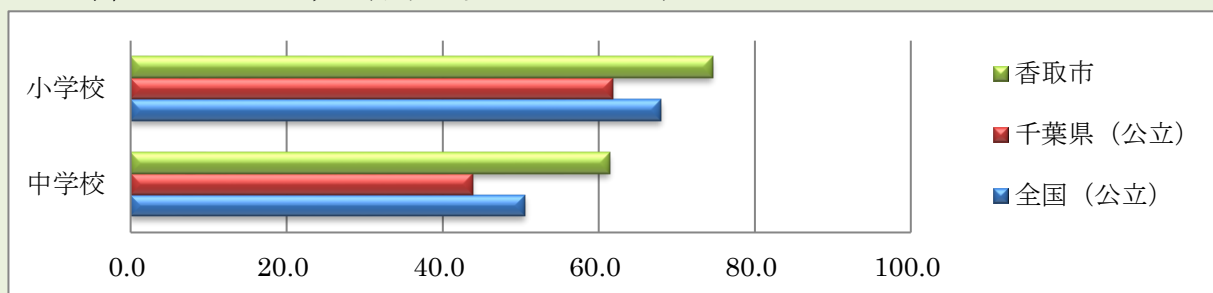
### 児童・生徒質問紙から

※児童・生徒質問紙から一部を抜粋 ※数値は肯定的な回答をした児童・生徒の割合 (%)

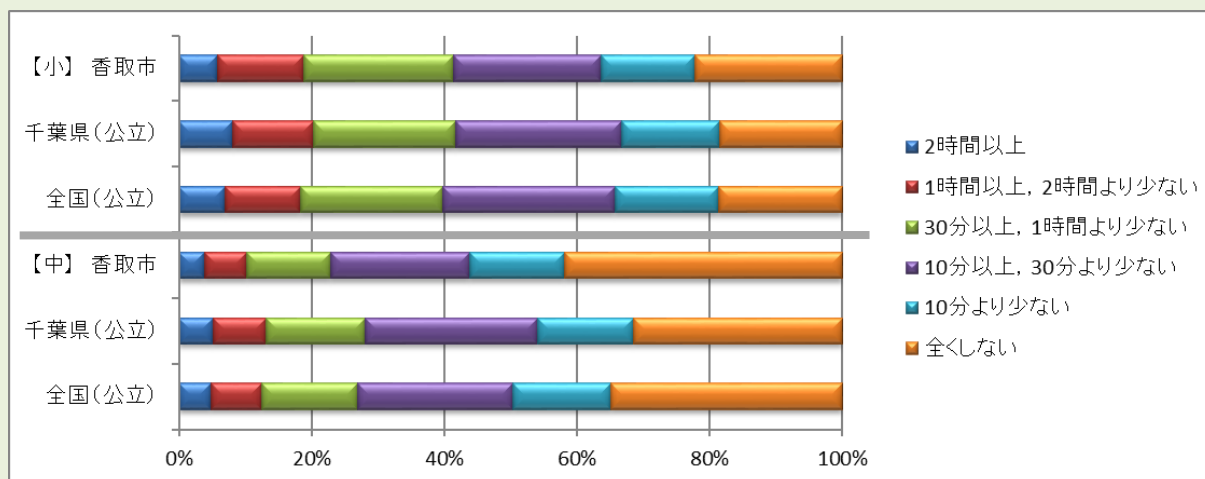
○ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていますか



○ 今住んでいる地域の行事に参加していますか



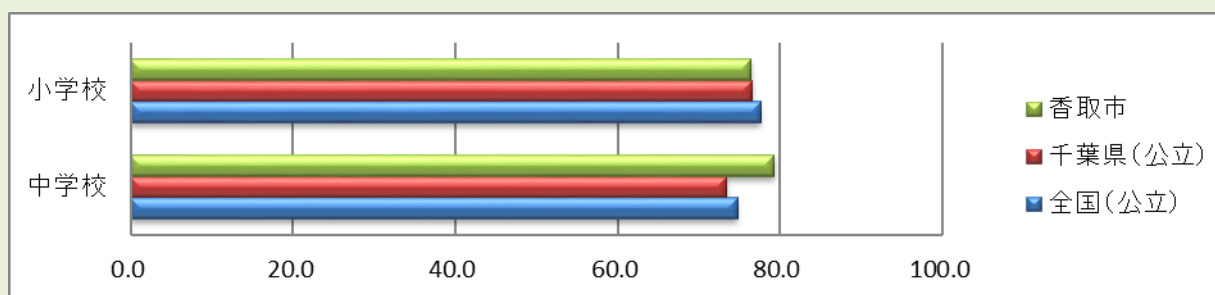
○ 学校の授業時間以外に、普段 (月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか (教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



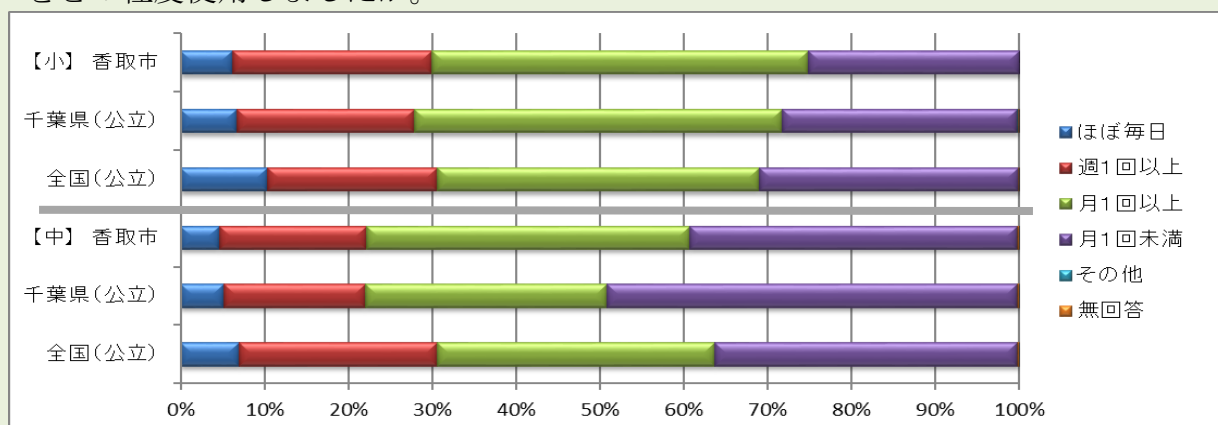
小学校・中学校ともに「先生は自分のよいところを認めてくれている」「地域の行事に参加している」という設問に対し、肯定的に答えている割合が、昨年度に続き、県や全国を上回っている。

家庭での読書については、小学校・中学校ともに全くしないと答えた割合が昨年度より増えている。特に、中学校は、全くしないと答えた生徒が40%を超えており、読書への取組について課題が見られる。

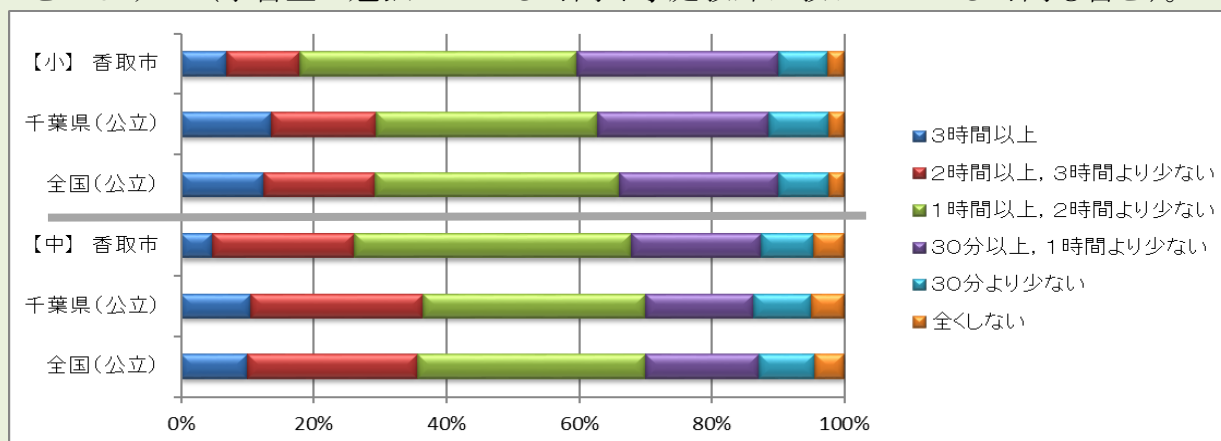
- 5年生まで（1・2年生のとき）に受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。



- 小学校5年生までに（中学校2年生で）受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか。



- 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）。

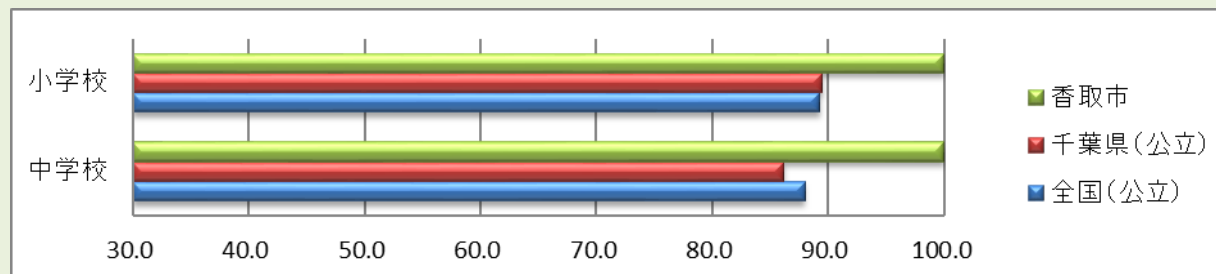


「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」という設問に対して、中学校は県や全国を上回った。小学校は全国をやや下回り、主体的に問題解決に取り組む姿勢に課題が見られる。「授業でコンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか」という設問に対して、小学校は週1回以上と答えた割合が全国と同程度、中学校では全国を下回った。「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という設問に対して、家庭で1時間以上勉強をする割合が、小学校・中学校ともに県と全国を下回った。ほとんどの児童生徒が家庭学習に取り組む習慣を身に付けているが、学習時間に課題が見られる。

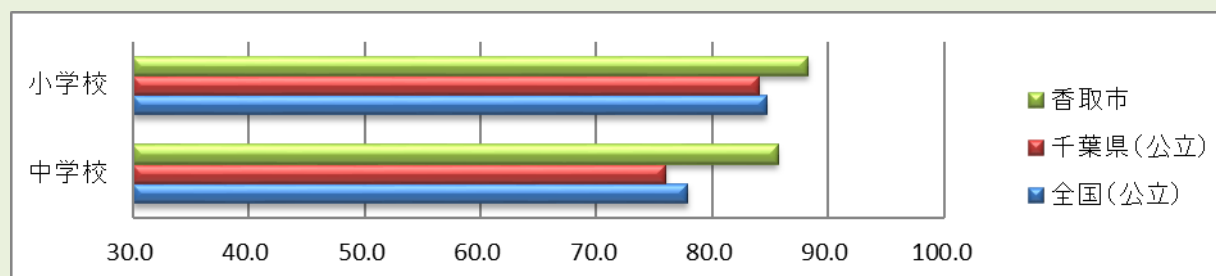
## 学校質問紙から

※学校質問紙から一部を抜粋 ※数値は肯定的な回答をした学校の割合（％）

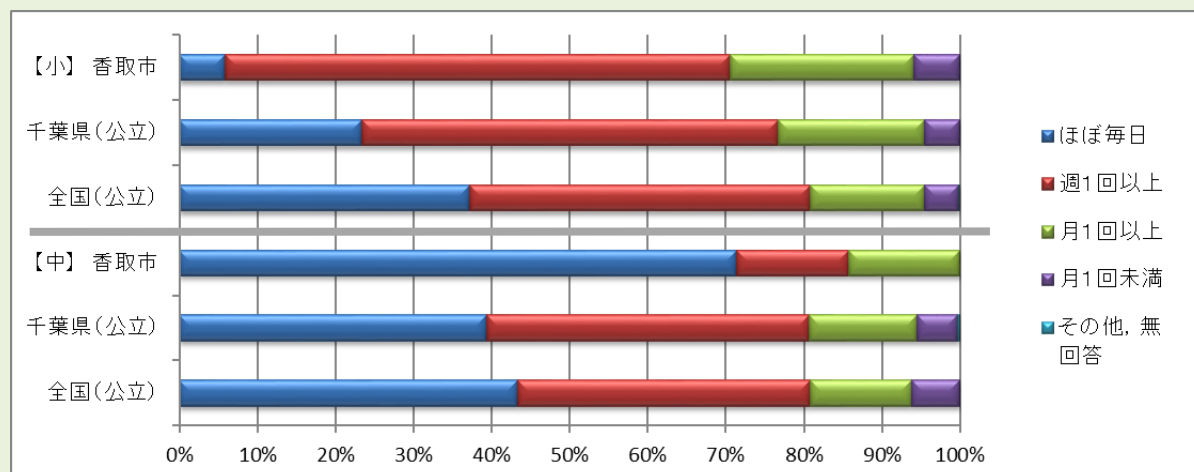
- 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか。



- 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、各教科で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか。



- 調査対象学年の児童・生徒に対する指導において、前年度までに、教員が大型提示装置（プロジェクター電子黒板など）などのICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか。



「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか」という設問に対して、小学校・中学校ともに県や全国を上回っている。主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善を行っていることが分かる。また、「各教科で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか」という設問に対して、昨年度は小学校で課題が見られたが、今年度は小学校・中学校ともに県・全国を上回った。ICTを活用した学習状況に関する設問に関して、小学校は70%が週1回以上活用しているが、県や全国をやや下回る。中学校はほぼ毎日と答えた割合が70%を超えており、積極的に活用している様子が見える。